

NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）の
小冊子「いのちとからだの10か条」を活用した授業案


学習の目標

- ・ひとりひとりが持っている「いのち」「からだ」について、あらためて考える。
- ・「いのち」と「からだ」の責任者として、どのように体を守るか考え、行動する態度を育てる。
- ・自分や他人の「いのち」や「からだ」を守る意識とともに、「こころ」も育てる。

1、いのちとからだはあなたのもの

過程	教師の働きかけ	子どもの活動	留意点
導入	<p>①みなさんが一つしか持っていないものを想像しましょう。</p> <p>②それは誰のものですか。</p> <p>③それはあなたにとってどんなものでしょう。</p> <p>④今日は、「いのち」と「からだ」について勉強しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名前 ・命 ・心 ・体 ・心臓、口など体の部位 <p>・自分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切 ・生きるのに必要 ・なくなったら困る → ・誰にも傷つけられたくない <p><u>「いのちとからだの10か条」の①を見る。</u></p>	<p>なぜ困るか＝「死」</p> <p>「死」の扱いとして「こころ」にも触れる</p> <p>資料活用</p>
展開	<p>⑤「いのち」と「からだ」を守るために必要なことは何でしょう。</p> <p>⑥誰がどのように守るのか、分類しましょう。</p>		<p>次の分類作業のために、カード化していく。</p> <p>分類カード、または模造紙にまとめる。</p>
	<p>⑤「いのち」と「からだ」を守るために必要なことは何でしょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・服を着る。 ・怪我をしない。 ・病気にならない。 ・運動をする。 ・ご飯をしっかり食べる。 ・体を休める。 ・病気になったら病院へ行く。 ・手洗いうがいをする。 ・予防する。 ・健康に気をつける。 ・勉強する。
	<p>⑥誰がどのように守るのか、分類しましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・服→暑い、寒いなど・自分 ・怪我→行動に気をつける・自分 ・病気→予防する・手洗いうがいをする・体を休める・運動をする・



	<p>⑦分類して気がついたことを発表しましょう。</p> <p>⑧責任者としてどんなことが必要かまとめましょう。</p>	<p>自分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病気→お医者さんに行く・医者 おいしいものを食べる・家族 <p>(お母さん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に気をつける→自分 ・ ほとんどが自分ですること ・ 何かが起こる前にすることがたくさんある ・ 予防が大切 <p><u>「いのちとからだの10か条」の②を見る。</u></p>	<p>※大人が整えてあげなければいけない環境もあることについて、教師側で整理しておく。</p> <p>資料活用</p> 
<p>終末</p>	<p>⑨さっそく、取り組みましょう。「いのち」と「からだ」を守るためにどんなことに取り組みますか。</p> <p>⑩「いのち」と「からだ」を守るための行動に必要なものは何でしょう。</p>	<p>⑪「いのち」や「からだ」の責任者として、予防したり、じょうぶな体作りをしたりし、命を守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず手洗いうがいを忘れないでする。 ・ 給食を残さないで食べる。 ・ ゲームを少なくして運動を増やす。 ・ 外で遊ぶ。 ・ しっかり寝る。 ・ お風呂に入って清潔にする。 ・ 事故にあわないように注意して行動する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ころろ」 ・ 「意思」 ・ やる気 	<p>個々が実践することを意識させる 記録化(カード)</p> <p>子どもから出ない場合は、教師側から提示</p>

<カード>

	<p>行動目標</p>
	<p>期間</p>
	<p>振り返り</p>

定期的に更新する。

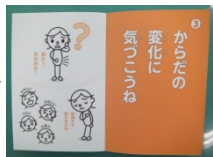
期間を決めて、継続・更新する。

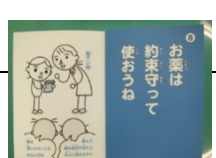
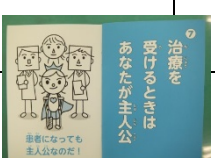
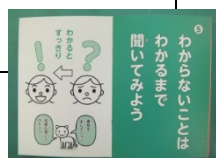
「いのちとからだの10か条」を活用した授業案

学習の目標

- ・ひとりひとりが持っている「いのち」「からだ」について、あらためて考える。
- ・「いのち」と「からだ」の責任者として、どのように体を守るか考え、行動する態度を育てる。
- ・自分や他人の「いのち」や「からだ」を守る意識とともに、「こころ」も育てる。

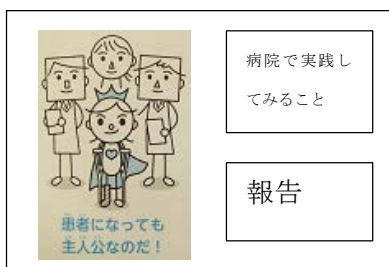
2、体の変化に気づこう

過程	教師の働きかけ	子どもの活動	留意点
導入	<p>①これまでの勉強を振り返りましょう。</p> <p>②病気や怪我をしてしまったら責任者としてどうしますか。</p> <p>③今日は「からだ」に変化があった場合の勉強をします。</p>	<p>・「いのち」と「からだ」は自分のものである。</p> <p>・私たちは自分の「いのち」と「からだ」の責任者である。</p> <p>・予防やじょうぶな体を作ることが大切。</p> <p>・早く直るように努力する。</p> <p>・病院へ行く。</p> <p>「いのちとからだの10か条」の③を見る。</p>	<p>留意点</p> <p>資料活用</p> 
展開	<p>課 「からだ」の変化に気づいたとき、責任者として、どんなことが必要なのか、考えよう。</p>		
	<p>④体に何か異常を感じたら、どうしますか。</p> <p>⑤病院へ行ったときの自分の行動を振り返ってみましょう。</p> <p>⑥どんなことに気づきますか。</p> <p>⑦「いのち」と「からだ」の責任者として、病院へ行ったときに自分ができていることを考えてみましょう。</p>	<p>・家族（お母さん）に話す。</p> <p>・休む。</p> <p>・薬を飲む。</p> <p>・病院へ行く。</p> <p>・家族（お母さん）と一緒に</p> <p>・自分の番まで待つ。</p> <p>・言われたとおりにする。</p> <p>・お医者さんに家族から病状を伝えてもらう。</p> <p>・全部人に任せている。</p> <p>・自分で何もしていない。</p> <p>・具合が悪いから仕方がない。</p> <p>「いのちとからだの10か条」の④⑤⑥⑦⑧を参考に、チャート図で表していく。</p>	<p>資料活用↓</p> <p>枝葉を広げて、関連することを広げていく。</p>



	<p>⑧責任者としてできそうなことをまとめてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お医者さんに自分から話す。 ・お母さんに話したことは、お医者さんにも自分から話せるかもしれない。 ・通院なら一人でもできそう。 ・一人で行けば、自分で話すしかない。 ・自分がどうしたいか伝えてみたい。 ・自分の症状をきちんとわかっていなくてはいけない。 ・お医者さんの指示を守る。 ・薬を正しく使う。 ・自分で薬の管理をする。 	
<p>終末</p>	<p>⑨責任者としてどんなことが必要かまとめましょう。</p> <div data-bbox="228 750 900 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑤ 「いのち」や「からだ」の責任者として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の体の変化に気づこう ②お医者さんと自分で話そう ③主人公になって治療を受けよう </div> <p>⑩さっそく、取り組みましょう。毎日取り組めること、病院に行ったらできそうなことを実践してみましょう。</p> <p>⑪体の変化に気づくのは自分だけでしょうか。</p> <p>⑫次の学習は、他の人にも視点を広げて学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日できること 自分の体の変化に気づく。 ・病院でやってみること それぞれに選択してカードにまとめる。 ・他の人から教えてもらうことができる。 ・他の人の変化に気づいてあげられることがある。 ・他の人への心が大切。 	<p>個々が実践することを意識させる 記録化 毎日できることは前回の責任者のカードにも追加する 病院でやってみることは報告する形で扱う。</p> <p>行動には「ころ」が関係していることを押さえる。</p>

<カード>





「いのちとからだの10か条」を活用した授業案

学習の目標

- ・ひとりひとりが持っている「いのち」「からだ」について、あらためて考える。
- ・「いのち」と「からだ」の責任者として、どのように体を守るか考え、行動する態度を育てる。
- ・自分や他人の「いのち」や「からだ」を守る意識とともに、「こころ」も育てる。

3、だれのいのちも大切

過程	教師の働きかけ	子どもの活動	留意点
導入	<p>①これまでの勉強を振り返りましょう。</p> <p>②家族や友達、身近な人の「いのち」と「からだ」できづくことがあったら、どうしますか。</p> <p>③今日は、いろいろな人の「いのち」と「からだ」についての勉強をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは自分の「いのち」と「からだ」の責任者である。 ・自分の「いのち」と「からだ」のことは自分で伝えよう。 ・自分の「からだ」の変化に気づこう。 ・行動(実践)するために「こころ」も必要。 <p>・教えてあげる。</p> <p>・手伝ってあげる。</p> <p>・協力する。</p> <p><u>「いのちとからだの10か条」の⑨を見る。</u></p>	<p>留意点</p> <p>資料活用 ⇒ </p>
展開	<p>課 いろいろな人の「いのち」と「からだ」を守るためにどんなことが必要なのか、考えよう。</p> <p>④世の中には、自分以外にどんな人がいますか。</p> <p>⑤これまでの学習を参考にして、「いのち」と「からだ」の責任者として、いろいろな人の「いのち」と「からだ」を守るためにできることを考えましょう。</p> <p>⑥友達と自分の考えを話したり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族。 ・友達。 ・お年寄り。 ・幼児。 ・からだที่ไม่自由な人。 ・障がいを持った人。 ・妊娠している人。 ・怪我や、病気をしている人。 ・元気いっぱいの人。 <p>だれに対してどんなことができるか、個々にチャート図で表していく。</p> <p>・それぞれの考えを話す、聞く。</p>	<p>次の作業のために、カード化していく。</p> <p>枝葉を広げて、関連することを広げていく。</p> <p>大事なことはメモを取</p>

	<p>聞いたりしましょう。</p> <p>⑦作業を通して自分が気づいたことや、友達の話聞いて気づいたことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のためにお手伝いをする。 ・病気や怪我について、もっと勉強しておく。 ・弱い立場の人に手を貸していく。 ・相手を傷つけるようなことはしてはいけない。(「いのち」「からだ」「こころ」) ・いじめはだめ。 ・自分が気づいても、相手が話を聞いてくれないことがあるかもしれない。 ・言うことを聞いてくれないことも考えられる。 ・進んで行動できないかもしれない。 ・相手に迷惑にならないように考えなくてはならない。 ・「いのち」と「からだ」「こころ」はだれのものであっても大切。 ・自分のことは自分が責任者としてしっかり守っていかなくてはいけないし、協力できることはしていかなくてはならない。 	<p>る。</p> <p>できること、やってみたいことだけでなく、できないこと、難しいことも認めていく。</p> <p>「こころ」に触れられる材料を大切に扱う。 「こころ」についても意識させる。</p>
<p>終末</p>	<p>⑧全ての人の「いのち」と「からだ」を守るためにどんなことが必要かまとめましょう。</p> <div data-bbox="225 1335 1235 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑨ だれの「いのち」や「からだ」もとても大切なものなので、思いやりの心を育て、みんなで守っていかなくてはならない。</p> </div> <p>⑨これからの生活の中で、「いのち」「からだ」「こころ」を守るための実践をしていきましょう。どんなことに取り組みますか。</p>	<p>「いのちとからだの10か条」の⑩を見る。または、全体を通して見る。</p>	<p>資料活用 ⇒</p>  <p>個々が実践することを意識させる 記録化 これまでのカードを使用し、内容を濃くしていく</p>